

一年間の振り返り	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 颯田こども園 令和5年3月 </div>	
運営管理	<p>教育・保育理念を基本に教育保育方針・教育保育目標に基づいて、一人一人の子どもたちを大切に、豊かな感性と仲間づくりを大切にする心を育み、職員相互理解と連携を持ってクラス運営に努めました。子どもたちは、保護者の見守りの中で保育者や友だちと関わりを持ち様々な経験を通して心身ともに成長しました。全職員人権に関することや保育の専門性を高めるための研修を行い、資質の向上に努め保育に取り入れてきました。</p>	
守秘義務	<p>保育業務の中で知り得た秘密情報については、全職員に守秘義務の徹底を図りました。</p>	
安全・危機管理	<p>事故、災害危機管理マニュアルをもとに、毎日の安全点検を行い、事故防止に努めました。月1回の防災訓練の実施や不審者対応訓練、地震訓練、風水害訓練において職員連携のもと実施し、今年度初めて保護者の方への協力を要請し、コドモンを使用し非常災害時対応訓練も行いました。また今年度は、飯塚警察署の指導の下、交通安全教室を実施し子どもの安全を守るための危機管理意識を高めました。</p>	
保育環境	<p>園内整備と保育室の環境を整え、子どもたちが、主体的に関われるようにあそびのコーナー作りを工夫しました。新型コロナウイルス感染防止対策として机上遊びの充実を図り楽しく過ごせるようにしました。</p>	
健康・衛生管理	<p>園医による健康診断及び歯科検診、蟻虫検査や尿検査を年2回行い、子どもたちの健康管理に努めました。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な対策を考慮し実践しました。毎日の検温、手洗いの徹底、マスク着用(3～5歳児)、黙食の指導をしていきました。全保育室に空気清浄機、加湿器を備え、室温、湿度管理、換気を行いました。遊具、玩具等の消毒も毎日行いました。 職員におきましても、毎朝の検温、体調管理、マスク着用にて保育を行う等徹底した対策をしました。また、保護者の方への協力も要請させていただきました。2学期までは送迎をテラス対応とし、園舎内の立ち入りをご遠慮いただき、家庭保育が出来る日は、協力依頼をさせて頂きました。</p>	
保育内容	<p>教育・保育課程に基づいて一人一人の子どもを大切に豊かな感性と仲間を大切にする心を育む保育を行いました。おたよりや送迎の際に子どもの成長を保護者の方へお伝えし、共に喜ぶことができました。</p>	
食育	<p>給食は、地元産食材を使うことに努めました。菜園活動では、子どもたちが育てた野菜を収穫し、食への関心や食べる意欲を育みました。今年度は、5歳児が庄内生活体験学校でのさつま芋苗植え、収穫を経験しました。また食物アレルギー児の対応も、保護者・給食担当者・担任と連携をとって進めることができました。様々な行事食文化を子どもたちに伝えることができました。</p>	
子育て支援	<p>保護者とコミュニケーションを図り、園だよりやクラスだよりを毎月発行し、いつでも育児相談ができる体制作りをしていきました。個別に相談があれば園長、副園長、担任と話をすることで、子育てのアドバイスができました。一時預かり事業では子育て支援ができるよう子育ての悩みをお聞きし、助言することができました。</p>	
地域交流	<p>地域の行事(颯田産業まつり、ひいなのみつりなど)が新型コロナウイルス感染症防止対策の為、参加することは出来ませんでした。交流センター文化祭は、子どもたちの作品を展示し、参加することが出来ました。また地域の方との挨拶を交わしたりすることで交流を図りました。</p>	
苦情報告	<p>園に対して意見・要望などがありましたが、その都度、保護者と話し合い、改善を行うことで理解を得ることが出来ました。第三者委員までいくような相談はありませんでした。</p>	
外部評価	<p>●職員相互理解と連携をもち、人権保育に関することや専門性を高めるための資質の向上に努め運営を行ってきたことは評価できる。 ●今年度の反省事項を基に、来年度の保育の質等状況の改善に期待したい。</p>	<p>住谷 洋子 氏名 城石 理恵</p>